

公益社団法人大阪府鍼灸師会
主要行事予定表

(公社)大阪府鍼灸師会 地域ケア推進委員会 主催



介護支援専門員実務研修受講資格取得のための 対策講座のご案内（ハイブリッド開催）



介護支援専門員実務研修受講資格（ケアマネジャー試験）合格を目指す方のための試験対策講座です。

今年、受験しなくても今後の受験時に役に立つ内容となっています。

今回は問題集中心の講座となっております。今年の試験は令和6年10月13日(日)に実施されます。

日時

第2回 令和6年8月11日(日)
13:00～15:00（ハイブリッド開催）

会場

大阪府鍼灸師会会館もしくは
WEB（Zoom ミーティング）

内容

「介護支援専門員実務研修受講資格取得のための対策講座」～予想問題に対して一問一答で学ぶ～
【講師】永澤 至子 先生（大阪府鍼灸師会 地域ケア推進委員会 委員長）

受講料

●第2回 会 員：1,000 円（日鍼会・大鍼師会・柔整師会・全日本鍼灸学会の会員含む）
会 員 外：2,000 円
学 生：無料

※会費種別は自己申告制です。運営から種別の確認があった場合、速やかに確認できる様にご準備下さい

参加申し込み方法

先着順（会館参加 30 名 WEB 参加 300 名）
QRコード・当会ホームページ、manaable（マナブル）から参加申し込み後、
受講料をお振り込みにてお支払い下さい。

申込締切 8月8日（木）

《manaableログインサイト》
<https://harikyu.manaable.com/login>



取得単位 | （公社）大阪府鍼灸師会生涯研修〈2単位〉
（公財）東洋療法研修試験財団生涯研修講座〈2単位〉
《研修会詳細》はホーム | 公益社団法人 大阪府鍼灸師会 (osaka-hari9.jp) をご覧下さい
《WEB セミナー受講上の諸注意》 詳細は「WEB 聴講利用手引書」をご覧下さい

研修の問い合わせは
E-MAIL：study@osaka-hari9.jp までお願いします。
電話での問い合わせは対応できかねます。

(公社)大阪府鍼灸師会 災害医療研修会のお知らせ

大規模災害発生時の多種多様な状況に適切に対応できる技術・知識を有する災害支援鍼灸師の育成を図る目的で、研修会を開催いたします。日本は災害多発国です。最近では地球温暖化の影響か、豪雨災害も多発しています。また、今後30年の間に必ず発生すると予測されている南海トラフ地震は、宮崎県沖から静岡県沖までの超広域災害であり、首都直下型地震も連動する確率が高く、未曾有の大災害となる可能性があります。

いつ起こるとも予測できない災害に対し、災害支援鍼灸師として活動するためには、他職種連携を担う面からも災害医療の共通認識が必要となります。また災害時のメンタルヘルスケアに関しましても、自身のメンタルケア及び被災者の方への声かけ等で、非常にセンシティブかつ重要な要素となります。更に、災害現場において鍼灸師として活動する際の特性も学んでいただかないと思わぬトラブルの原因となります。

ぜひ、本研修会を受講していただき、災害支援鍼灸師としての活動が円滑に出来るよう研鑽に励んでください。

尚、本研修は能登半島地震における、日本財団様の助成金を元に開催いたしますので、受講料は無料となります。

日時

令和6年8月12日(月)
13:00～17:00くらいまで

会場

大阪府鍼灸師会会館もしくは WEB

会費

無料

申込み

大阪府鍼灸師会ホームページより
<https://harikyu.manaable.com/login>



お問い合わせ先

gaia7889@gmail.com 堀口まで

講座内容

01

「災害医療のいろは」 13:00～14:30

講師：若井 聡智 先生
厚労省直轄 DMAT 西日本統括・独立行政法人国立病院機構本部 次長

02

「災害時のメンタルヘルスケア」 14:40～15:40

講師：奥浜 伸一 先生
沖縄県 DPAT・平安病院

03

「災害支援活動における鍼灸師の性質」 15:50～16:50

講師：是元 佑太 先生
DSAM 代表・日本鍼灸師会 危機管理委員会 委員長

若手鍼灸師・鍼灸学生のための鍼灸フェスの受付が始まりました！

2024年9月29日(日)、若手鍼灸師・鍼灸学生の為の鍼灸フェスを開催いたします。

これから鍼灸師を目指す方、鍼灸師になって間がない方に向けた鍼灸師のためのフェスです。

臨床に出て「治療方法に困った」「自分にはどんな武器があるのだろう」……こんなふうに悩んだ時に、臨床の一助となる選択肢を増やす“きっかけ”を見つけるためのフェスになればと思っています。

セミナー及び、ブース出展（企業、鍼灸業界団体、治療諸派）を盛り込み、全員で盛り上げることのできる参加型のフェスを目指しています。

また、終了後には同会場にて大交流会も予定していますのでぜひ参加ください。

ご参加をお待ちしております！



第24回大阪府障がい者スポーツ大会 スポーツ鍼灸ボランティア活動に参加して

準会員 下田 侑以

昨年に引き続いての参加でしたが、前回とはまた違った気づきがあり、参加して本当に良かったと思いました。スポーツ鍼灸のボランティア活動では、ストレッチングやテーピング、パイオネックス、セラミック電気温灸器などを用いて、鍼灸を身近な存在に感じてもらうという意義がありますが、障がい者スポーツ大会では、その重要性をより強く感じました。

私が直接担当した方ではないのですが、受付で鍼灸のサービスを受けようか迷っている方がいました。その方は、「自分みたいな人間が鍼灸院に行くことは、健常者に対しては迷惑だからいけないと思っていた」と話し、担当した先生が、「そんなことはありません、誰でも受けていいんですよ」と言うと、「サービスを受けてみたい」と快く私達のブースをご利用してくださいました。レース前の利用でしたが、ストレッチングとパイオネックスで心身ともに緊張がほぐれたのか、「速く走れるようになった気がする」と笑顔でレースに臨んでいかれました。その方がレース後に立ち寄ってくださったのですが、自己ベストで走れたそうで、「今まで引け目があって鍼灸院に行ったことがなかったけど、今度は街の鍼灸院に行ってみようと思う」と言ってくださいました。今まで自らのハンデを気にして、鍼灸を受けられなかった方にも、鍼灸が身近な存在になってもらえたと感じることができた、とても嬉しい出来事でした。

ストレッチングを行っていく中で、障がいのある方は、力が入りやすく、筋緊張のきつい方が多いように感じました。虚実で表すならば、虚の箇所が強い、範囲が広いほど、その反動で実の度合いが強くなり、範囲も広がってしまうからだと思います。実の箇所を鍼灸で緩めてあげることができれば、そういった方々こそ、鍼灸で少しでも心身ともにリラックスできると思います。実際、サービスを受けられた方の多くが、終わった頃には硬かった表情がよく緩んでいました。鍼灸には、心のバリアフリーを体現する力もあるのではないかと感じました。

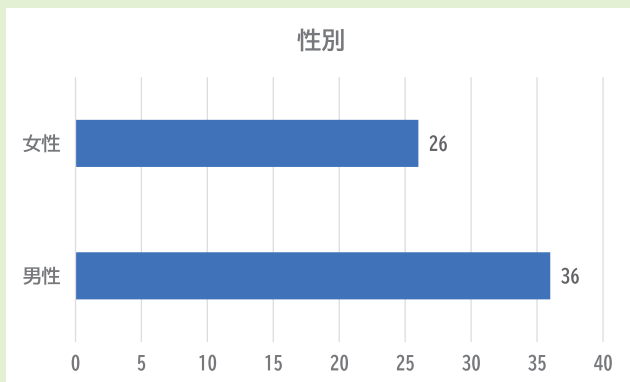
スポーツ鍼灸ボランティアの活動では、毎回新しい気づきがあります。参加する大会によって、利用される方の年齢層、主訴などが違いますし、準会員の私にもたくさん挑戦の場をいただけるからです。普段の臨床では味わえない貴重な経験をたくさんさせていただけるので、今後も様々な活動に参加し、鍼灸師として成長し続けていきたいと思っています。



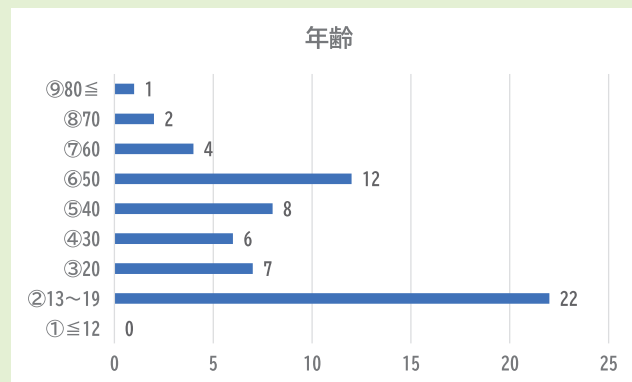
第24回大阪府 障がい者スポーツ大会 スポーツ鍼灸ボランティア 活動報告

活動日：2024年5月12日（日）

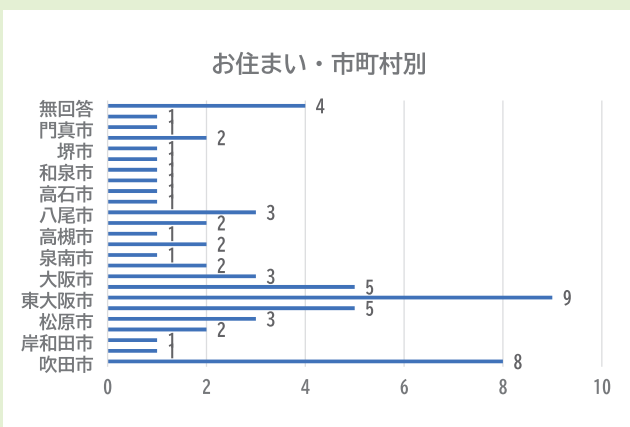
※次のデータはサービスを利用したランナー
62名の問診票により数値化したものである。



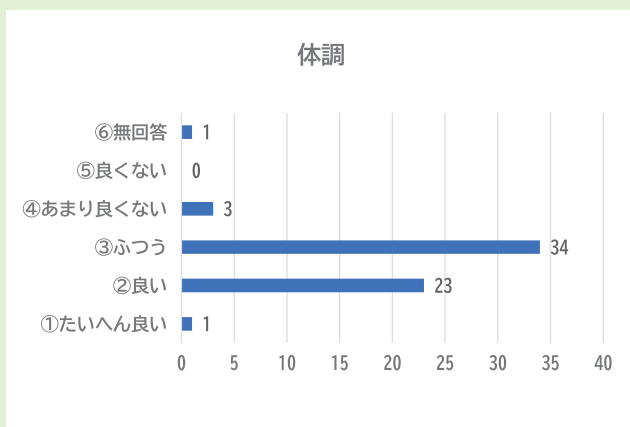
結果 男性の利用の回答は最も多く36名で、全体の58.1%であった。



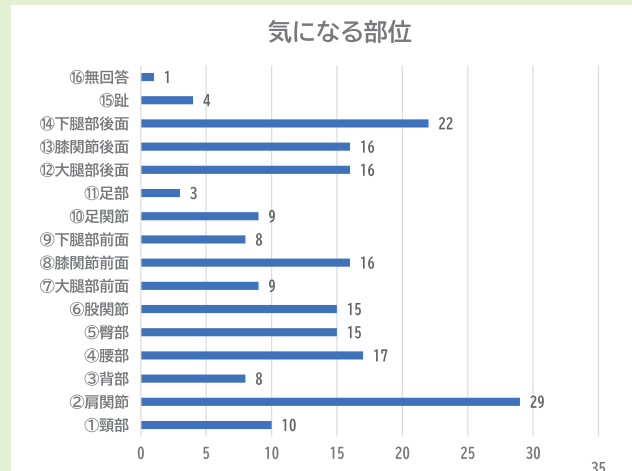
結果 「②13～19」の回答は最も多く22名で、全体の35.5%であった。



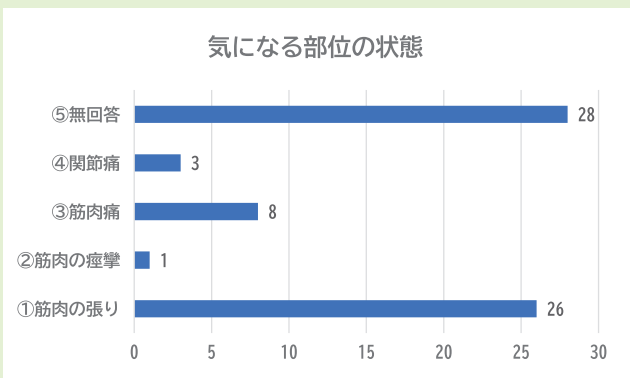
結果 東大阪市の回答は最も多く9名で、全体の14.5%であった。



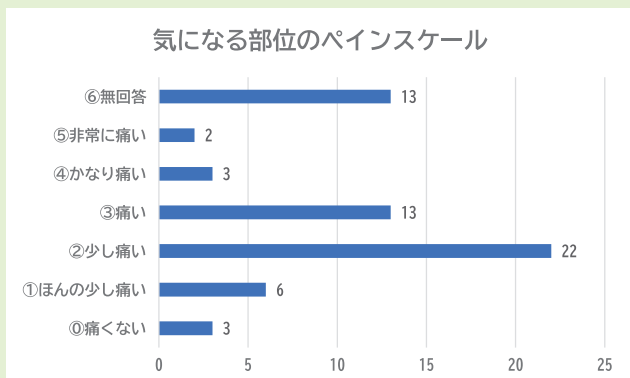
結果 「③ふつう」の回答は最も多く34名で、全体の54.8%であった。



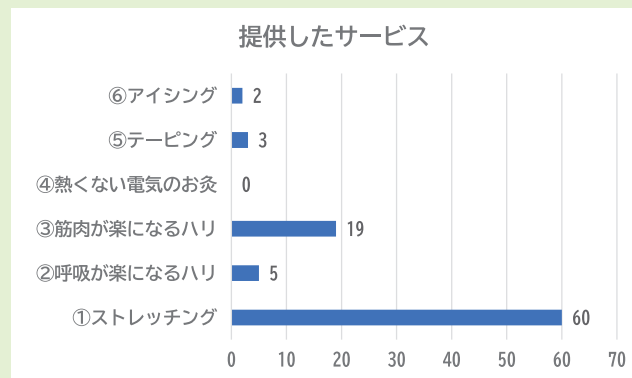
結果 「②肩関節」の回答は最も多く29名で、全体の46.8%であった。(複数回答あり)



結果 「⑤無回答」の回答は最も多く28名で、全体の45.2%であった。(複数回答あり)



結果 「②少し痛い」の回答は最も多く22名で、全体の35.5%であった。



結果 「①ストレッチング」の回答は最も多く60名で、全体の96.8%であった。(複数回答あり)

準会員	天王寺	北	豊中	大東	計(名)
2	1	1	1	2	7

考 察



大阪府障がい者スポーツ大会において、当会ブースを利用する参加者の年齢のピークは②13～19歳で、河内長野シティマラソン、大阪マラソン(それぞれのピークはどちらも40歳代)と比較すると若年層に支持されており、高槻クロスカントリー大会(ピークは①≦12、②13～19)と類似している。

①≦12および②13～19の利用者は、スポーツ外傷による痛みを少しでも軽減させて競技に挑みたいと思う気持ちが強いのが特徴である。

一般的に治癒力は同程度の損傷であれば年齢と治るまでの時間は比例している。年齢が高くなれば高くなる程、治癒に要する時間は掛かるばかりでなく、もう治らないと諦めの気持ちも強くなる。

昨年度から高槻クロスカントリー大会および大阪府障がい者スポーツ大会においては、準会員の鍼灸師と当会に入会したばかりの鍼灸師と行動を共にしている。免許を取り立ての鍼灸師でも急性期のスポーツ外傷であればサービスを提供している間に寛解もしくは間が合えば治癒させる可能性は高い。従って、若き鍼灸師に自信を養う場すなわち鍼灸の登龍門を提供することは、我々が一番大事にしなければならない使命といえる。

参加いただいた会員・準会員、協力をいただいた普及啓発委員会委員長三宅なつえ理事・法人管理委員会委員長浅井和俊理事には、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

スポーツ鍼灸プロジェクト委員会
委員長 若杉昌司

第 24 回大阪府障がい者スポーツ大会に参加して（北地域・スポーツ鍼灸プロジェクト委員会委員 甲斐 由紀）

5/12 に万博記念競技場で開催された、大阪府障がい者スポーツ大会に参加される方々のボディケアボランティアとして参加してきました。競技前に私達のサービスを受けに来られた選手方が、メダルをもって競技後にまた来てくれた時の笑顔が素敵でパワーもらいました。

選手から「ありがとう、金メダルとれたよ!」

この言葉に自分たちの疲れもどこかに行ってしまうほどです。

「今までメダルとか無縁の生活だったので……。競技に参加させて良かった。」と涙ぐんでおられたご両親の姿を見て、とても胸が熱くなりました。

選手からのメダルがお母さんへの「母の日」のプレゼントになったと思います。

私もたくさんの感動に立ち会うことができとても有意義な時間となりました。

選手の皆さん、ご家族の皆さん、そしてご一緒した先生方お疲れさまでした。

府民公開講座

府民公開講座の開催

地域ケア推進委員会 委員長 永澤 至子

今回の府民公開講座は、テーマが『介護保険の利用方法』ということで小規模での開催により、参加者に理解を深めていただきたいとの思いでの取り組みでした。

和気あいあいと質問や意見が飛び交う和やかな雰囲気の中での開催で、参加者は12名。(女性9名、男性3名)

内容は介護保険の申請の仕方、認定が下りた時に使えるサービスについての説明でしたが、参加者の食いつきがすごくて驚きました。

今は介護保険を利用していないが、これから先、どのようにすれば良いのか不安に感じておられる方が多いこと、手前味噌ではありますが、そういう不安を少しでも解消できるような内容になったのではないかと思います。

今後も、こういった府民の要望に応えられるような内容の勉強が出来る場を増やしていき、また介護保険を受けなくても健康で過ごしていけるような鍼灸とのコラボ事業に少しでも貢献できれば幸いです。



令和6年度 府民公開講座について

普及啓発委員会 委員長 三宅 なつえ

本年からの試みとして、小規模(聴講人数1講座5～10名位を目安)での府民公開講座を年に3～4回定期的に開催することになりました。

第1回目は、東大阪地域の永澤先生にお願いし、筋トレディサービス・ビーボにて6月16日(日)に開催。12名の府民の方にご参加いただきました。

講座内容は、地域包括ケアシステムとして掲げられている、住まい・医療・介護・予防・生活支援のうちの「予防(介護予防)」に着目し、下記の講座を実施致しました。

①介護保険の利用方法。 講師：永澤 至子先生(東大阪地域、地域ケア推進委員会委員長)

②介護保険が必要になる前に……日々できる養生法のご紹介。 講師：松本 政己先生(東大阪地域)

介護は他人事ではなく、身近に起こりうる事柄ですので、皆さんとても熱心に受講され、またこの様な講座を開催して欲しいというお声を頂きました。

講座を通じて、健康の維持、向上に我々鍼灸師がお手伝いできるという事を、一般府民の方々はもちろん、介護に携わる方々にも広く知ってもらい良いきっかけになればと思っております。

今後の開催場所としては、介護事業所をもつ当会会員の先生方に募集を募り、その介護事業所で開催していく予定です。

その際は、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。



令和6年度7月度学術講習会開催にあたり

大阪府鍼灸師会研修委員長 清藤直人

気温30度超えが続く7月の折、第2回研修事業がスタートしました。第1回開催に続き、今回も本会が初めての試みといえる、「動物鍼灸」を題材に研修会をおこないました。鍼灸業界としても、実際のワンちゃんをモデルにして行なったセミナーの例を私は聞いたことがなく、当初、衛生的な問題や、鍼灸師が動物に鍼を打って良いのか、などの質問を受け戸惑ってしまいました。しかし、業としないことや、自分の飼っているペットに対してのケアということでご理解いただけたらと考え、開催する運びとなりました。

岸ゆり先生に講師をお願いした経緯は、岸先生が鍼灸学生1年生の時に、私が授業をしていまして、その時初めて獣医師の学生がいると知りました。そして時が経て、同じく鍼灸学校1年生で朝倉京子さん（ワンちゃんをモデルで3匹提供してくれた）に授業をしているとき、朝倉さんが「岸先生ご存じですか？実は私の犬を診てもらっているのです。鍼灸もしてくださっているのですよ。」という話を聞いた時に、この研修会を開ける、と考えた次第です。何よりも飼い主さんとワンちゃんと先生との信頼関係がしっかりしているので、安心して研修をおこなえると確信しました。さらに朝倉さんのワンちゃんが人なつっこいことも幸いし、人に噛みついたり、吠えたりすることなく、無事に進めることが出来ました。

会場には35名定員の満員御礼で、WEB受講72名、合計で約107名にも及ぶ参加を得ることができました。いかに動物鍼灸に興味があるかが伝わってくる研修会と考えます。可能な限り2回3回とやっていきたいと考えておりますので、各先生方、ご理解の程よろしくお願いいたします。

つづいて、下田達也先生に研修会レポートをまとめていただきましたので、ご一読くださいませ。

獣医師による動物鍼灸治療

【会場】：大阪府鍼灸師会館3F、WEB

【講師】：岸 ゆり 先生（ラファエル動物病院 獣医師 鍼灸師）

①獣医としての西洋医学と東洋医学

西洋医学が得意とするもの・・・手術、痛みの速攻除去、症状の量的変化（血液検査）、視覚的評価（レントゲン、エコー等）。

東洋医学が得意とするもの・・・定量化できない不定愁訴の改善（更年期障害、自律神経失調症）、末期症状や慢性症状へのQOL向上、老齢犬特有の症状への手解き（夜泣き、イライラ、減薬等）。

②治療

～問診～

飼主さんが判断し伝える情報が「思い込み」及び「勘違い」であり正しい情報が得られないケースが多い。

例) 咳が主訴なのに魚の骨が引っかかっている、吐気がある 等

脳腫瘍や癲癇発作なども体表観察でなるべく早く診断することで QOL 向上につながる。

～触診～

動物は四肢末端、腹部を触られることに敏感→頸部背側、背部俞穴が中心

TH9～TH12 間が詰まっているので触診が困難だが、椎骨の触りすぎもストレスになるので注意が必要。

実技では会場に来ていただいたワンちゃんをモデルに脈診と筋肉、椎骨、経穴の確認。反応穴を使い脈が変わるか体験。

～テスト～

歩行・姿勢の観察とテスト→運動器障害の絞りだし

姿勢反射の代表的なテスト・・・CP（プロプリオセプション）、一側起立（歩行）

脊髄反射の代表的なテスト・・・屈曲反射、体幹皮筋反射

～家でのメンテナンス～

これが一番大事

ホットタオルでの補法やローラー鍼での瀉法、皮膚揺らしなど

やりすぎ注意。適切な強さで適切な回数行うことが大事

③ヒトとイヌの違い

例) 鎖骨・・・イヌにはヒトでいう鎖骨が無い。代わりに鎖骨画がある。鎖骨画はヒトの胸鎖乳突筋、僧帽筋と類似。

ヒトとイヌでは筋肉、骨の構造や数、可動域、が違う。→ツボの位置が違う

④高度医療と東洋医学の統合による QOL の改善を試みた症例

1、ステロイド治療後の威嚇行為に対する温灸、背骨ゆらし→症状軽減

2、左下顎切除後の放射線治療法による放射線患部の熱傷に対し銀鍼にて瀉法→著効

⑤まとめ

高齢や飼主さんの希望で麻酔が必要な検査ができない動物に東洋医学で治療するために大切なこと

1、正確な体表観察が出来ること

2、飼主さんが情報を提供しやすい環境

3、運動器障害では解剖学の知識が必須

4、最新の医学情報もアップデートする

以上

大阪府鍼灸師会研修委員 下田達也



 霊枢勉強会報告

〈講師〉日本鍼灸研究会代表 篠原 孝市 先生

〈会 場〉大阪府鍼灸師会 会館3階

第38回

令和6年(2024年)5月12日(日)

〈出席者〉会員5名(会場) 一般11名(会場) *5月度は会場16名でした。

○『黄帝内經靈樞』 厥病(けつびょう)第二十四・第二章

○01 厥心痛。 02 與背相控。 03 善噦。 04 如從後觸其心。 05 僂僂者。 06 腎心痛也。 07 先取胃崑崙。 08 發針不已。 09 取然谷。

01 厥心痛(けっしんつう)、02 背(せ)と相控(あいひ)きて、03 善(よ)く噦(けい)し、04 後(しり)えより其(そ)の心(しん)に觸(ふ)れるが如(ごと)くにして、05 僂僂(うろう)する者は、06 腎(じん)の心痛(しんつう)なり。07 先(ま)ず京骨(けいこつ)、崑崙(こんろん)を取る。08 針(はり)を發(はつ)して已(い)えざれば、09 然谷(ねんこく)を取る。

(解説)
*02節は、胸も背中も痛いということを行っている。
*03節の癰(けい)すということであるから癰攣(けいれん)があるのだろう。ひきつたりするということである。
*04節の心(しん)というのは、見えない心(しん)の氣(き)ということである。解剖学でいう心臓とは違う。ここでは、からだのうしろから、からだの中にあって、見えない心(しん)というものに触れられているように痛むのだと思う。
*05節の僂僂(うろう)とは、背中を曲げて伸びない状態をあらわしている。からだのうしろの方から前のほうにまで痛みが来て、苦しうに前かがみになっている状態であろうと思う。
*06節で五藏(ごそう)の構造的な認識があることがわかる。心痛(しんつう)には腎(じん)がからんでいるものがあるということを言っている。五藏(ごそう)の認識もなく、ただの心痛(しんつう)だと考えて、たとえば特効穴があるから、そこを使って治療すればよい、そんな治療法ではない。この症状がある時には心痛(しんつう)だけでなく腎(じん)がからんでいるという病態把握をしている。
*07節で京骨(けいこつ)と崑崙(こんろん)というつぼを取るのだという。腎(じん)は足の少陰(しょういん)の経脈と関係がある。その表裏関係として足の太陽(たいよう)の経脈がある、そんなふうを考えていると思う。そうした考えがないと京骨(けいこつ)や崑崙(こんろん)という(膀胱と関係する)足の太陽(たいよう)の経脈のつぼを取る考え方は、おそらく出てこないと思う。
*08節の「針を発する」というのは針を取り去ればという意味だと思ふ。京骨(けいこつ)や崑崙(こんろん)を使って治らなければ然谷(ねんこく)というつぼを使うのだと思う。この理屈はわかる。然谷(ねんこく)というつぼは足の少陰(しょういん)という腎(じん)に關係のある経脈にある。はじめは腎(じん)と表裏關係にある足の太陽(たいよう)の経脈から攻めたてて行く。それが駄目ならば今度は直接に腎(じん)と関わる足の少陰(しょういん)の経脈を使うということだと思ふ。然谷(ねんこく)や京骨(けいこつ)というつぼが、どのような位置づけのもとに使われているのか、そんなことも研究の必要があらうと思ふ。
*腎(じん)と膀胱(ぼうこう)は表裏の關係にある。足の少陰(しょういん)と足の太陽(たいよう)という経脈も表裏の關係にある。こ

れは各々の注解者も書いていることである。
**京骨(けいこつ)：足の太陽膀胱経、部位 足外側、第5中足骨(ちゅうそくこつ)粗面の遠位、赤白肉際。
**崑崙(こんろん)：足の太陽膀胱経、部位 足関節後外側、外果尖(がいかにせん)とアキレス腱の間の陥凹部。
**然谷(ねんこく)：足の少陰腎経(しょういんじんけい)、部位：足内側、舟状骨(しゅうじょうこつ)粗面の下方、赤白肉際。

○10 厥心痛。 11 腹脹きょう満(**「きょう」の字は「匈」の下に「月」)。 12 心尤痛甚。 13 胃心痛也。 14 取之大都太白。

10 厥心痛(けっしんつう)、11 腹脹(ふくちょう)しきょう満(きょうまん)し、12 心(しん)尤(もつと)も痛むこと甚(はなは)だしきは、13 胃(い)の心痛(しんつう)なり。14 之(これ)を大都(だいと)、大白(たいはく)に取る。(**11節「きょう」の字は「匈」の下に「月」)

(解説)
*13節にある胃(い)の心痛(しんつう)、これが脾(ひ)の心痛となっていないのが、とてもおもしろい。ふつう腹脹(ふくちょう)やきょう満(きょうまん)と言うと脾(ひ)の病証だと考える。この症状の心痛(しんつう)は脾(ひ)がからんでいるのだと考えやすいものである。しかしここでは胃(い)の心痛だと言う。胃(い)というものは五藏六府(ごそうろくぷ)の中でも特殊なものである。単に脾(ひ)の表側が胃(い)というだけではなくて、五藏(ごそう)と深くかかわるものというふうに考えることが出来る。
*胃(い)の心痛ではあるが、使うつぼは胃経(いけい)のものではなくて、脾経(ひけい)の大都(だいと)と太白(たいはく)を使う。これはちょっとおもしろい。
**大都(だいと)：足の太陰脾経、部位 足の第1指、第1中足指節関節の遠位内側陥凹部、赤白肉際。
**太白(たいはく)：足の太陰脾経、部位 足内側、第1中足指節関節の近位陥凹部、赤白肉際。(本文では大白)

○15 厥心痛。 16 痛如以錐針刺其心。 17 心痛甚者。 18 脾心痛也。 19 取之然谷大谿。

15 厥心痛(けっしんつう)、16 痛むこと錐針(すいしん)を以(もつ)て其(そ)の心(しん)を刺すが如(ごと)く、17 心(しん)痛むこと甚(はなは)だしき者は、18 脾(ひ)の心痛(しんつう)なり。19 之(これ)を然谷(ねんこく)、大谿(たいけい)に取る。

(解説)
*16節の錐針(すいしん)というのは、錐(きり)のような針を言う。これで心(しん)を刺すというのであるから、これは痛い。
*18節の脾(ひ)の心痛は胃(い)の心痛よりも痛みがすごい。
*19節で然谷(ねんこく)と大谿(たいけい)という足の少陰の経脈を取っている。(脾と関係がある)足の太陰(たいいん)のつぼは取ってはいない。
*五藏(ごそう)が経脈と関係した途端、対立の關係性が導入された。
**然谷(ねんこく)：足の少陰腎経、部位 足の内足、舟状骨粗面の下方、赤白肉際。
**大谿(たいけい)：足の少陰腎経、部位 足関節後内側、内果尖トアキレス腱の間の陥凹部。

(参考文献)
**で表す経穴の記載は以下のテキストを引用している。
『新版 経絡経穴概論 拡大版』日本理療科教員連盟、社団法人東洋療法学校協会編、医道の日本社発行2009年4月第1版

『霊枢』の森を歩いてみませんか。毎月休まず第二日曜午前10時から12時まで、大阪府鍼灸師会館3階です。勉強会の案内につきましては本会ホームページをご確認下さい。次回は2024年 7月14日(日)「周痹(しゅうひ)第二十七」からです。続き物でもないので、どの篇でも興味に応じて受講頂ければと思います。八月度は年に一度の特別講義、テーマは『藏象(ぞうしょう)』について』です。 お楽しみに。

(霊枢のテキストは現在2冊の在庫があります。1冊1,600円です。受講申し込み時、または当日、受講受け付けにてお問い合わせください)

(霊枢勉強会世話人 東大阪地域 松本政己)

第39回

令和6年(2024年)6月9日(日)

〈出席者〉会員8名(会場) 一般10名(会場) *6月度は会場18名でした。

○『黄帝内經靈樞』 病本(びょうほん)第二十五・第一章

○01 先病而後逆者。 02 治其本。 03 先逆而後病者。 04 治其本。

01 先(ま)ず病(や)みて後(のち)に逆(ぎゃく)なる者は、02 其(そ)の本(ほん)を治(ち)す。03 先(ま)ず逆(ぎゃく)して後(のち)に病(や)む者は、04 其(そ)の本(ほん)を治(ち)す。

(解説)
*01節の「病(や)む」というのは、日常ならざる何かの症状を指していよう。たとえば頭が痛いとか、くびが痛いとかの症状である。「逆(ぎゃく)」というのは「厥逆(けつぎゃく)」のことである。からだの下から上へ、あるいは上から下へめぐる氣(き)の、そのめぐりが滞ってしまうことが原因となる。からだの下から上って行った氣(き)が上ったままになって、足が冷えて頭や胸などに症状が出るのが「厥逆(けつぎゃく)」である。
*02節の「本(ほん)」について、王冰(おうひょう)という人はこのように言う。
「本、先病。 標、後病。(本は先病なり。標は後病なり)」
*本(ほん)というのは先に出た症状、標(ひょう)というのは後(のち)に出た症状だと言っている。
*馬玄臺【ばげんだい、馬蒔(ばじ)も同一人】はこのように言う。「夫(そ)れ、先(さき)に病むを本(ほん)と曰(い)い、後(のち)に病むを標(ひょう)と曰(い)う。故(ゆえ)に凡(およ)そ先(ま)ず初病(しよびょう)生(しょう)じ、而(しか)して後(のち)に病勢(びょうせい)逆(ぎゃく)する者(もの)、必ず先(ま)ず其(そ)の初病(しよびょう)の本(もと)爲(た)るを治(ち)す。若(も)し先(ま)ず病勢(びょうせい)逆(にして、而(しか)して後(のち)に他病(たびょう)を生(しょう)ずる者(もの)は、則(すなわ)ち必ず病勢(びょうせい)逆(ぎゃく)の本(もと)爲(た)るを、而(しか)して先(ま)ず之(これ)を治(ち)す也(なり)」
(**「而して(しかして)： そうして。そうであるから。『広辞苑第七版』、2018年1月、新村出編、(株)岩波書店発行より)」
*ここで言う「逆(ぎゃく)」を厥逆(けつぎゃく)と取るか、あるいは馬玄臺(ばげんだい)が言うように「病勢が逆」と取るかで01～04節の解釈は変わってくると思う。
馬玄臺(ばげんだい)の言う「病勢が逆」という意味は決してわかりやすい言葉ではない。
*「逆(ぎゃく)」という字に対し、郭霽春(かくあいしゅん)という人は、その著においてこのように記している。
「先逆而後病者： “逆”指氣血逆行。 馬蒔曰：“先病勢逆而後生他病者，則必以病勢逆之爲本，而先治之也。”」

【先(ま)ず逆して後に病(や)む者：「逆(ぎゃく)」は氣血(きけつ)逆行を指す。 馬蒔(ばじ)は、これをこのように言っている。
“先(ま)ず病勢(びょうせい)逆(にして、而(しか)して後(のち)に他病(たびょう)を生(しょう)ずる者(もの)は、則(すなわ)ち必ず病勢(びょうせい)逆(ぎゃく)の本(もと)爲(た)るを、而(しか)して先(ま)ず之(これ)を治(ち)す也(なり)”】
*「逆(ぎゃく)」の意味を、ここでは「氣血(きけつ)逆行」ではなく、「厥逆(けつぎゃく)」と採りたい。
*『靈樞經校釋(れいすうきょうしやく)』では「本(ほん)」と「標(ひょう)」についてこのようなことを言っている。
「本(ほん)には本源(ほんげん)、根本(こんぽん)の意がある。本(ほん)は大本(おおもと)という意味がある。標(ひょう)は枝葉末節(しよまつせつ)だと言う。古人は「標本(ひょうほん)」をもって分別して、具体的に対立するところの二つの面をまとめて、それを分析して云々」と書いている。

*『素問(そもん)』や『靈樞(れいすう)』に出て来る「標(ひょう)」と「本(ほん)」というのは王冰(おうひょう)という人が言うように、最初に出た症状あるいは最初に病んだものを「本(ほん)」、後(あと)で出た症状を「標(ひょう)」としている。
*ちなみに経絡治療の「標(ひょう)」と「本(ほん)」の意味とはこのようなものだ。病(やまい)が五藏(ごそう)に達しているものに対して行う治療方法を「本治法(ほんじほう)」と呼んでいる。そうではなくて、もっと浅いところにある病(やまい)に対する治療方法を「標治法(ひょうじほう)」ということになるかと思う。

○05 先寒而後生病者。 06 治其本。 07 先病而後生寒者。 08 治其本。 09 先熱而後生病者。 10 治其本。

05 先(ま)ず寒(かん)して後(のち)に病(やまい)を生(しょう)ずる者は、06 其(そ)の本(ほん)を治(ち)す。07 先(ま)ず病(や)みて後(のち)に寒(かん)を生ずる者(もの)は、08 其(そ)の本(ほん)を治(ち)す。09 先(ま)ず熱(ねつ)して後(のち)に病(やまい)を生(しょう)ずる者は、10 其(そ)の本(ほん)を治(ち)す。

(解説)
*どちらにしても最初に生じた病というものを治療対象とする。寒熱と病(や)む、病むとは何らかの症状があるということを行っている。寒熱の症状の場合は、最初に出てきた症状に対しての治療をしなさいと言う。なぜこのような治療方針になったのかは、ちょっとわから

ない。ただ、こういうふうに病(やまい)というのは一つだけではなくて、症状が変化して行き複数の症状に及ぶのだと言っている。

『傷寒論(しょうかんろん)』という本に載っている三陰三陽(さんいん・さんよう)のように病態が転換していく場合はどうするのかという問題はもちろんある。しかし、ここでは「寒(かん)して後に病(やまい)生(しょう)ずる」ということであるから、最初に寒(かん)の状態の、たとえば震えが出て、その後何らかの症状が出るという時に最初の寒(かん)の症状に着目しなさいということなのだと思う。現在、このような治療をしているということがないので具体的なところに踏み込めないのが残念ではある。しかし問題意識としては、そういうことだろうと思う。

*「寒熱(かんねつ)」というのを郭霽春(かく あいしゅん)氏はその著作でこのように述べている。
「寒： 指寒性疾病。(寒とは寒性の疾病を指す)」
「熱： 指熱性疾病。(熱とは熱性の疾病を指す)」
*寒熱の判断の基準としては脈拍が早い、遅いということもあろう。一呼吸にいくつ脈拍があるかということもその判断の基準になる。

『霊枢』の森を歩いてみませんか。毎月休まず第二日曜午前10時から12時まで、大阪府鍼灸師会館3階です。勉強会の案内につきましては本会ホームページをご確認下さい。次回は2024年 8月11日(日)です。八月度は年に一度の特別講義、テーマは『藏象(ぞうしょう)』について』です。 藏象(ぞうしょう)とはなんだろう、興味はつきません。9月8日(日)は『靈枢』「口問 第二十八」に入ります。

(霊枢のテキストは現在2冊の在庫があります。1冊1,600円です。受講申し込み時、または当日、受講受け付けにてお問い合わせください)

(霊枢勉強会世話人 東大阪地域 松本政己)

！ 令和6年度 8月・9月研修事業のご案内

下記の要綱をご覧ください、会員の先生方におかれましては、万障繰り合わせの上、ご参加お待ちしております。詳細は、研修会案内をご参照下さい。

取得単位

(公社) 大阪府鍼灸師会生涯研修〈2単位〉
(公財) 東洋療法研修試験財団生涯研修講座〈2単位〉

会 場 大阪府鍼灸師会館 3階

受講料 会 員:1,000円 (日鍼会・大鍼師会・柔整師会・全日本鍼灸学会の会員含む)
会 員 外:2,000円
学 生:無料

※会費種別は自己申告制です。運営から種別の確認があった場合、速やかに確認できる様にご準備下さい。

参加申込み方法 先着順(会館参加 30名 WEB参加 300名)

【参加申し込み方法】先着順(会館参加 30名 WEB参加 300名)
QRコード・当会ホームページ、manaable(マナブル)から参加申し込み後、受講料をお振り込みにてお支払い下さい。研修3日前に最終の案内をお送りいたします。



<https://harikyuu.manaable.com/>



令和6年8月11日(日)

10:00~12:00
霊枢勉強会
(ハイブリッド開催)

演題 ・霊枢勉強会 夏季特別講義「蔵象」
(ハイブリッド開催)
講師 篠原 孝市 先生 日本鍼灸研究会 代表

令和6年9月8日(日)

10:00~12:00
霊枢勉強会
(ハイブリッド開催)

演題 ・霊枢勉強会 第二十八「口問」(ハイブリッド開催)
講師 篠原 孝市 先生 日本鍼灸研究会 代表

13:30~16:45
学術講習会
(ハイブリッド開催)

演題 ・学術講習会(ハイブリッド開催・アーカイブあり)
「美顔に対する美容鍼」
講師 折橋 梢恵先生 (美容鍼灸の会 美真会 代表)

演題 ・学術講習会(ハイブリッド開催・アーカイブあり)
「美顔に対する美容鍼 実技編」
(実技供覧)
講師 折橋 梢恵先生 (美容鍼灸の会 美真会 代表)

※WEBセミナー会場へのセキュリティ強化と入室をスムーズに行うため、申し込み時の氏名と振り込み時の氏名およびZOOM入室時氏名を統一して本名にてご登録いただきますようお願い致します。
※受講時ビデオonをもって単位認定いたします
※取得単位は、講習会終了後に当会にて登録作業を行います
※単位認定は講習前後15分以上の遅刻・退室により付与致しかねます。また受講状況により付与できない場合がございますのでご了承ください
《WEBセミナー受講上の諸注意》 詳細は「WEB聴講利用手引書」をご覧ください
※撮影ならびに録画・録音はお断りいたします。
※当日使用するZOOMミーティングのソフトウェアをご自身が使用するデバイス(PC・タブレット・スマートフォン)に事前インストールをお願いいたします。また、最新版への更新をお済ませください。
※当日は参加者確認に時間を要するため、準備が出来た方は早めに受付を行って頂きますようお願いいたします。20分前から入室ができるよう準備いたします。
※最後に質疑応答の時間を設けますが、講義中もチャットにて随時質問をお受けいたしますので、主催者の指示に従って頂きますようお願い申し上げます。
※講習時はビデオon、マイクoff(ミュート)にご協力ください。

お申込み開始

8月度 7月15日(月)
9月度 8月12日(月)

事前にスムーズに対応していただけるよう、当日の参加方法と講義資料、ダウンロード方法をお知らせいたします。

■ 当日の参加方法

【会場参加】

- ①会場にて出席QRコードをスマートフォン等で読み取り
- ②いつも通り、会場で受講
- ③退出時も退席用QRコードを読み取り(受講完了確認)

【WEB参加】

- ①ログイン - manaable ←左記サイトに入りログイン
- ②「自分の研修」から申し込んだ研修会选择
- ③「受講する」を選択(開始1時間前9時より有効となります)
※実際のZoom接続は30分前開始となりますので、9時30分以降に③を実行して下さい。
- ④Zoomにて受講

■ 講義資料ダウンロード方法

- ①会場参加・WEB参加ともにログイン - manaable ←左記サイトに入りログイン
- ②「自分の研修」から申し込んだ研修会选择
- ③「受講する」を選択し、研修詳細画面の下部「講座概要」欄の講座資料に記載のPDFを選択し、ダウンロード(添付参照)
※今まで通り、講義資料のダウンロード開始は、前日の21時以降となりますこと、ご理解下さい。

ご不明な点やお問い合わせは『大阪府鍼灸師会』E-MAILで
お願いします。

E-MAIL : study@osaka-hari9.jp (研修委員会 清藤)

公益社団法人 大阪府鍼灸師会 主要行事予定表 (7月14日現在)

1. 令和6年8月予定

日	曜日	主要行事	場 所	開催時間
5	月	会費引き落とし日		
8	木	民生労災相談・審査会	会館2階事務所	15:00~
11	日	霊枢勉強会	会館3階+WEB配信	10:00~
11	日	ケアマネ試験対策講習会	会館3階or4階	13:00~
12	月	災害医療講習会	会館3階+WEB配信	13:00~
29	木	第4回正副会長会議	会館2階	20:00~
31	土	第4回理事会	京都 聖護院御殿荘	16:00~
31 ~ 9/1	土 ~ 日	令和6年度 理事・監事・地域代表者 一泊研修会	京都 聖護院御殿荘	17:00~

2. 令和6年9月予定

日	曜日	主要行事	場 所	開催時間
7	土	民生労災相談・審査会	会館2階事務所	15:00~
7	土	吹田市 みんなの健康展	吹田市文化会館 (メイシアター)	
8	日			
8	日	霊枢勉強会・学術研修会	会館3階+WEB配信	10:00~
22	日	近畿ブロック会議(和歌山)		

2. 令和6年10月予定

日	曜日	主要行事	場 所	開催時間
6	日	府民公開講座	筋トレデイサービス くろーばー	
7	月	民生労災相談・審査会	会館2階事務所	15:00~
13	日	霊枢勉強会	会館3階+WEB配信	10:00~
26 ~ 27	土 ~ 日	日鍼会 全国大会in福岡	みらいホール & カンファレンス	



いっしょに、いこう!
大阪・関西万博